

家庭学習の手引き

保護者用リーフレット

～子どものやる気を高め、主体性を育むために～



佐賀県教育委員会



“ほめるから、はじめる。はじまる。”
(佐賀県教育の合言葉)

① 家庭学習の手引き
保護者用リーフレット

「ほめるから、はじめる。はじまる。」
(佐賀県教育の合言葉)

「学ぶ力」って、どんな力ですか？

- 意欲や興味・関心
- 課題する気持ち
- 粘り強く取り組む姿勢 など

「学ぶ力」を育てるためには、どんなことが必要ですか？

ご家庭で大切にしたいことは、クローバーの葉に示した4つです。効果のある「声かけ」や「関わり方」を、『家庭学習の習慣化4つのススメ』として整理しました。ぜひ、ご家庭でも取り組んでみてください。

生活のリズムをととのえましょう！
学習の習慣化をつくりましょう！
小さな「がんばり」を積みましょう！
家族の対話を大切にしましょう！

このQRコードは、インターネットの検索を通じて「家庭学習の手引き」をダウンロードできます。

② 家庭学習の習慣化 に向けた 4つのススメ

保護者として実際にどんな「声かけ」や「関わり方」ができますか？

例えば、こんな「声かけ」や「関わり方」をしてみてください！

- 生活のリズムをととのえましょう！
例えば、次の日の準備は寝る前までに！
- 学習の習慣化をつくりましょう！
例えば、手始めに、学習場所の整理・整頓！
- 小さな「がんばり」を積みましょう！
例えば、毎日〇日は、ノーテレビ・ノーゲームデー
- 家族の対話を大切にしましょう！
例えば、朝は「おはよう」のひと声を家族全員で

他のご家庭で、どんな「声かけ」や「関わり方」をされているのか、参考にしてみたいので、①ページのQRコード、または、インターネットの検索画面から確認してみてください。

③ ～わが家の場合～

②ページの「声かけ」や「関わり方」を参考に活用ください。

生活のリズムをととのえましょう！
学習の習慣化をつくりましょう！
小さな「がんばり」を積みましょう！
家族の対話を大切にしましょう！

※『家庭学習の習慣化に向けた4つのススメ』の全てでなくても、ご家庭の状況に合わせて、取り組むことができるススメ(特に大切にしたい、こだわりたいススメなど)を選んでみてください。

④ 保護者の皆様へ(活用の一例)

このページでは、③ページを活用した一例を紹介していますが、必要な内容を示したページを家族の目につく場所にはっていただくなど、ご家庭の状況にあわせた使い方をされても構いません。

ステップ1 「～わが家の場合～」を作成し、家族の目につく場所にはりましょう！

②ページを参考に、子どもたちと一緒に話し合ったことを③ページのクローバーの葉の中に直接記入したり、付せん紙に記入したものをはりつけたりして作成しましょう。

※ 付せん紙を使うと、実践できたことをはがしたり、新たにに取り組むことを追加してはりつけたりする際に、便利です。

③ページを冷蔵庫など家族の目につく場所にはりましょう。

ステップ2 記入したことを家族で実践しましょう！

【ステップ1】で決めたことを、家族みんなで実践しましょう。

ステップ3 「～わが家の場合～」を振り返りましょう！

時々、家族みんなで実践の様子を振り返ったり、新たにに取り組むことを追加したりすると、より効果的な活用につながります。

継続と徹底を！

ご家庭で実践されたどんなによい取組も、一時的なものでは本当の力にはなりません。大切なことは、その取組を「継続すること」・「徹底すること」です。子どもたちが様々な変化のあるこれからの社会をたくましく生き抜くことができるよう、励めたり、ほめたりしながら「学ぶ力」を育てていきましょう。

お問い合わせ先：佐賀県教育委員会事務局学校教育課 ☎0952-25-7395 or gakkokuyoukai@pref.saga.lg.jp



このリーフレットの特徴については、3つのポイントがあります。

ポイント1

・学習時間や学習の仕方等ではなく、子どもたちにとって将来にわたり必要な「**学ぶ力**」の育成に焦点をあてた内容になっている。

ポイント2

・「**学ぶ力**」の育成のために大切にしてほしいことを「**家庭学習の習慣化4つのススメ**」として整理し、具体的な声かけや関わり方についての例を掲載している。

ポイント3

・「**家庭学習の習慣化を支えるわが家のひと工夫**」として各家庭で行われた声かけや関わり方の例などの詳細を、QRコードやインターネット検索画面から検索できるようになっている。



「学ぶ力」って、どんな力ですか？

- 意欲や興味・関心
- 挑戦する気持ち
- 粘り強く取り組む姿勢 など

学びに向かう意欲や姿勢

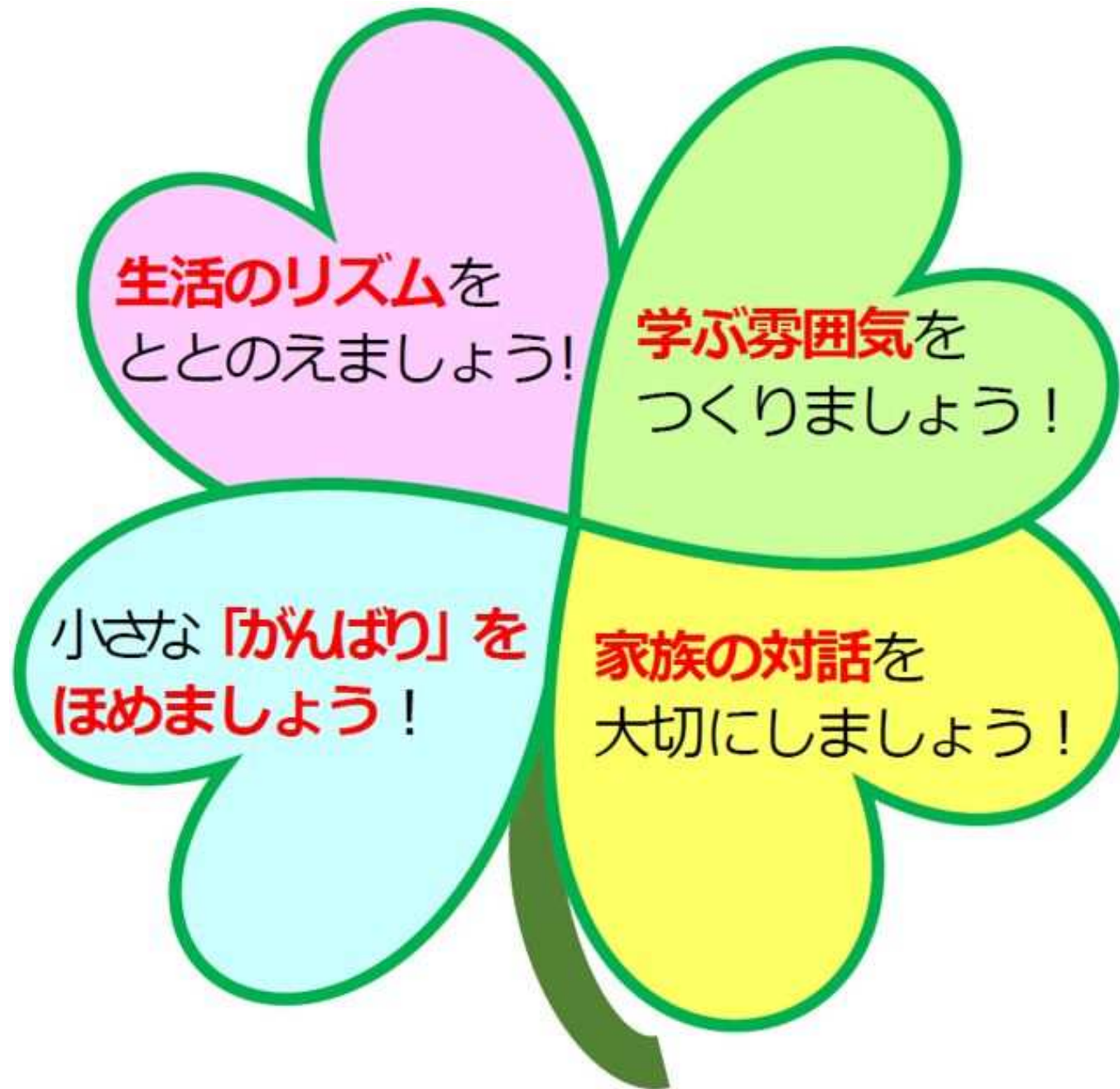


- 自分で内容や時間を決める
- 自分で内容の軽重を判断する
- 自分で取り組む順序を決める など

学び方



これらは、子どもたちにとって、将来にわたり、自分で考え、判断して、課題を解決したり、いろいろなことに積極的に取り組んだりするために必要な力です。



家庭学習の習慣化に向けた 4つのススメ

保護者として実際にどんな“声かけ”や“関わり方”ができますか？



例えば、こんな“声かけ”や“関わり方”をしてみてもいいですか？



他のご家庭で、どんな“声かけ”や“関わり方”をされているのか、参考にしてみたいので、①ページのQRコード、または、インターネットの検索画面から確認してみます。



家庭学習の習慣化を支える わが家のひと工夫

生活のリズムをととのえましょう!



- すぐに使える声かけ例
- 早起、早起き、朝ごはん
- 「ただいま」の後は 手洗い、うがい、宿題を!
- ゲーム・スマホは 時間を守って!

- 関わり方の例
- 早寝・早起き・朝ご飯をいつも家族みんなで守っています。
 - 目覚まし時計をきて、自分で起きることができるようにしました。(目覚まし時計は自立の第1歩)
 - 学校から帰ったら、手と顔を洗ってすぐに宿題に取りかかるようにしています。
 - 勉強してから好きなことをするように決めています。
 - 家庭の時間割(学習時間や休憩、テレビやゲームをする時間)を家族一緒に考えています。
 - いつも同じ時間、同じ場所で学習するようにしています。
 - 次の日の朝、気持ちよく学校へ行くことができるように、次の日の準備は必ずその日のうち(寝る前までに)にするようにしています。
 - ノーテレビ、ノーゲームデーは、家族みんなで読書をしたり、カードゲームをしたりして過ごしています。
 - スマホやインターネットの使用について、時間や場所などお互いが納得できるように家族で話し合っルールを決めています。

小さな「がんばり」をほめましょう!



- すぐに使える声かけ例
- 「日」回 いとこ探!
- 「ありがとう」は 魔法の言葉!
- 「失敗は成功のもと」 チャレンジする姿を見るのが嬉しい

- 関わり方の例
- やり終わった宿題を、テーブルの上に置くように伝え、それを保護者が見て褒めるようにしています。
 - 小さいことでも、できたこと、してくれたことに「うれしい」「たすかった」などメッセージ(私メッセージ)で伝えるようにしています。
*1メッセージ(私メッセージ)とは、「私」を主語にして自分の気持ちや思いを伝えること。
 - 1メッセージ
 - ①「どうしたの?」と聞くことから始める。(まずは、受け止めてから話す。)
 - ②子どもが認めてほしいことをほめる。
 - ③子どもの「のび」を見つけてほめるようにしています。
 - 人と比べることなく、頑張っていること、頑張ろうとしていることを認めるようにしています。
 - ほめる時には、兄弟姉妹と比べてほめるに、以前の姿と比べて成長をほめるようにしています。また、保護者として、「あなたが頑張っている姿がうれしい」ことも伝えるようにしています。
 - シールを貼るなど、頑張りが一目でわかるようにしています。
 - 直接伝えられないときは、付せん紙やメモに一言書いて伝えています。
 - 自主学習ノートを使って学習をするときは、学習した感想や気づきを書かせるようにしています。それを読んで頑張りを認めるようにしています。

学ぶ雰囲気をつくりましょう!



- すぐに使える声かけ例
- 手始めに 学習場所の整理・整頓!
- 全集中! テレビ・音楽・スマホの電源 OFF
- ただ今 「学習中」・「読書中」 家族みんなで協力!

- 関わり方の例
- リビングに読書や図鑑、地図帳を置き、いつでも取り出しやすいようにしています。
 - 宿題や学習をするときは、できるだけ保護者が見えるところで取り組ませるようにしています。
 - 勉強時間は、机の上に勉強道具のみを準備するようにしています。
 - 時間を意識しながら学習に取り組ませるようにしています。子どもが決めた学習時間の間は、静かな環境を作っています。
 - 部屋に世界の国名や日本の都道府県名が書かれた地図、トイレに英語のポスター、お風呂に平仮名、カタカナ、ひらがなのポスターなど、子どもの興味のあるものを見ることができるようになっています。
 - 休む時は休む、やる時はやるメリハリをつけるようにしています。
 - 学習をしている時間は、テレビ、音楽、スマホの電源はオフにしています。
 - 音聲から疑問に思ったことなどを大切に、答えを教えるのではなく、一緒に調べたり、考えたりしながら解決をするようにしています。

家族の対話を大切にしましょう!



- すぐに使える声かけ例
- 家族の間で 笑顔であいさつ!
- スマホでなく 相手の顔をみて 話をしよう!
- 今日の学校 楽しさ(悲しさ) 何点?

- 関わり方の例
- 「おはよう」「ただいま」「おかえりなさい」は、保護者から必ず言うようにしています。
 - 保護者のほうから、うれしかったことや楽しかったことなど、プラスの話題を振るようにしています。
 - テレビのニュースや新聞の記事について、「どう思う?」「どうして?」と投げかけ、お互いの考えを伝え合うようにしています。
 - 「勉強しなさい」「勉強しよう」は優しく、あいさつ感覚で声かけを継続しています。
 - 食事の買い物に行った時は、材料など「どれくらい必要かな?」とか、全部で「いくらぐらいになる?」など一緒に話しながら自分の考えをもたせるようにしています。
 - わかっていることでも、「どうしてだろう」と聞いたり、子どもが考え、説明する機会をたくさんつくるようにしています。
 - 毎日、娘が持ち帰ってくる連絡袋を確認して、その日の学校でのできごとや友だちとのように生活していたのかをこまめに聴くようにしています。
 - 音い事や塾などへの車での送迎の時間が落ち着いて話せる場になっています。
 - イライラしたときは、自分で深呼吸をして、そんなときこそ、笑顔になるように心がけています。
 - 家族と一緒に本を読む時間をつくり、感想を言い合うなどで家族の対話を増やしています。(家読)

③

～わが家の場合～



②ページの“声かけ”や“関わり方”を参考にご活用ください。

生活のリズムを
ととのえましょう！

学ぶ雰囲気
をつくりましょう！

小さな「がんばり」を
ほめましょう！

家族の対話を
大切にしましょう！

※ 『家庭学習の習慣化に向けた4つのススメ』の全てでなくても、ご家庭の状況にあわせて、取り組むことができるススメ（特に大切にしたい、こだわりたいススメなど）を選んでもいいと思います。



④

保護者の皆様へ（活用の一例）



このページでは、③ページを活用した一例を紹介していますが、必要な内容を示したページを家族の目につく場所にはっていただくなど、ご家庭の状況にあわせた使い方をされても構いません。

ステップ1 「～わが家の場合～」を作成し、 家族の目につく場所にはりましょう！

②ページを参考に、子どもたちと一緒に話し合ったことを③ページのクローバーの葉の中に直接記入したり、付せん紙に記入したものをはりつけたりして作成しましょう。

※ 付せん紙を使うと、実践できたことをはがしたり、新たに取り組むことを追加してはりつけたりする際に、便利です。



③ページを冷蔵庫など家族の目につく場所にはりましょう。

ステップ2 記入したことを家族で実践しましょう！

ステップ1 で決めたことを、家族みんなで実践しましょう。

ステップ3 「～わが家の場合～」を振り返りましょう！

時々、家族みんなで実践の様子を振り返ったり、新たに取り組むことを追加したりすると、より効果的な活用につながります。

継続と徹底を！

ご家庭で実践されたどんなによい取組も、一時的なものでは本当の力にはなりません。大切なことは、その取組を「継続すること」・「徹底すること」です。子どもたちが様々な変化のあるこれからの社会をたくましく生き抜くことができるよう、認めたり、ほめたりしながら「学ぶ力」を育てていきましょう。

わたしががんばり宣言!

家庭学習の充実に向けて「わたしががんばり宣言!」を決めてみましょう。

「わたしががんばり宣言!」

すてきながんばり宣言、応援しています!

～()家の場合～

家族みんなで一緒に続けましょう!

「家庭学習の習慣化4つのスメ」の中から御家庭で大切にしている項目を選びましょう。(※何項目でも構いません。)

()家の取組

※選んだスメを基に具体的に家族で取り組むことを記入しましょう。

()の取組 ()の中には、例えば、お父さん、お母さん、OO(お子様の名前)などをご記入ください。

※家族で決めたことについて個人で取り組むことを記入しましょう。

取組の状況を振り返りましょう。

振り返り	振り返って一言	今後の取組
4. よく取り組めた() 3. まあまあ()		
2. あまり() 1. 取り組めなかった()		

わが家のスローガン

家庭学習の習慣化に向けた4つのスメの充実に向けて「わが家のスローガン」を決めて、家族の目につく場所にはりましょう。

～()家のスローガン～

